

平成21年度第7回土地利用調整審査会 会議録

- 1 開催年月日 平成22年2月26日（金） 午後3時00分開会
午後3時25分閉会

- 2 出席委員 宇野健一
桑田仁
下里和夫
野澤康 （五十音順）

- 3 欠席委員 村木美貴

4 議事日程

日程第1 まちづくり誘導地区の指定及び誘導計画の策定（晴見町地区）

5 議事

日程第1について

晴見町地区におけるまちづくり誘導地区の指定及び誘導計画の策定について説明

審議の概要

（委員）「晴見町地区におけるまちづくり」に関するアンケート調査の回答者の内訳を教えてほしい。回答結果について、土地利用ゾーンごとの特徴があれば教えてほしい。

→（事務局）313 通の回答の内、「住・商・工調和ゾーン」に住んでいる方が16.0%。「一般ゾーン」に住んでいる方が8.1%。「集合住宅・一般住宅調和ゾーン」に住んでいる方が49.8%である。

土地利用ゾーンごとの回収結果の特徴については、住まわれているゾーンに関する意見が多く出されていた。また対象区域が28haということもあり、他ゾーンに関する意見が出づらかった。ただし、各ゾーン共通の意見として、北府中駅への東西アクセスが悪いということが挙げられた。

（委員）アンケート調査や協議会活動と地区内に土地・建物を所有しているUR、国、東京都との関わりはどのようになっているのか。これらの機関は、協議会に参加しているか。

→（事務局）協議会にUR、国、東京都は参加していない。まちづくりニュ

ースという形で、対象区域の関係者に配布しているものと同じものをその都度配布している。

(委員) アンケート調査では、当地区をまちづくり誘導地区として指定及び誘導計画を策定することに対する賛否や意見はどのようなであったか。

→ (事務局) アンケート調査では、自由意見という枠で様々な意見を頂いた。主な意見として、「誘導地区は方針的なものであり、直接的な規制を伴うものではないが新たなルールを定める必要性があるのか」、「誘導計画ではなく、地区計画をかけるべきではないか」というものがあった。

(委員) まちづくり誘導地区として合意形成を進めていくことについて住民はどのように思っているのか。

→ (事務局) 府中市地域まちづくり条例に基づくまちづくり誘導地区は、市が策定するものであり、地域の合意形成を密に図って進めているわけではないが、協議会を開催した度に、地区内の全戸にまちづくりニュースを配布し、対応している。

(委員) まちづくり誘導計画における地区施設等図は、現状の地区施設を表現しているのか。例えば、当地区の東西方向のアクセス改善のために、新たな地区施設を表現することも考えられるのではないか。

→ (事務局) まちづくり誘導計画における地区施設は、公共の道路、公園を表現している。地区計画における地区施設では、新設する地区施設も含め表現をするが、まちづくり誘導計画は関係権利者の合意形成を図って進めていくものではないため、現状の地区施設を表現している。当地区の東西方向のアクセス改善の方針については、土地利用に関する事項の中で記載している。なお、まちづくり誘導地区を指定する地区については、将来的に地区計画や建築協定を目指すことを考えているので、地区計画の段階にて図示していきたい。

(委員) 住・商・工調和ゾーンには、現在、工業関係の施設はあるのか。

→ (事務局) バスの営業所や事務所等がある。つい最近まで工場として利用された建物は今年度解体し、更地となっている。

(会長) 当案件については、3月23日から4月6日まで誘導計画案を縦覧し、関係者からの意見書を提出して頂く手続き後、市の見解を付し、次回土地利用調整審査会にて市から報告して頂き、答申するという流れでよろしいか。

(各委員) 異議なし。

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証するため、ここに署名する。

会 長

野 澤 康

委 員（桑田委員）

桑 田 仁